

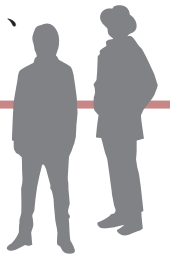
1996年9月6日、一人のベストセラー作家が、帝国ホテルで執筆中、死んだ。

1996年は、日本で一番書籍が売れた年だった。

好評
発売中

京都に女王と呼ばれた作家がいた ～山村美紗とふたりの男～

葬儀に、喪主として現れたのは、西村京太郎でもなく、娘の山村紅葉でもなく、担当編集者も知らない男、山村巍だった。



著者：**花房観音**

判型：四六判上製 228P / 本体価格：1,500円+税
ISBN：978-4-908443-52-7



「京都で人が殺されていないところはない」

京都に住み、京都を描き続けたミステリーの女王・山村美紗の生涯を、京都に住み、京都の女を描き続ける花房観音が描きます。

出版社の社長たちが原稿欲しさにあしげく通い、
西村京太郎邸と通路で結ばれた豪邸に住み、
京太郎の求婚を拒み続け、

他の作家が京都ミステリーを書くことを許さず、
お供を連れてアバンティブックセンターに通い、
松本清張に愛され、
ベストセラー作家の名をほしいままにした女。



山村巍 画

花房観音 について

1971(昭和46)年、兵庫県豊岡生まれ。京都女子大学文学部中退後、映画会社や旅行会社などの勤務を経て、2010年に「花祭り」団鬼六賞大賞を受賞しデビュー。男女のありようを描く筆力の高さには女性ファンも多い。著書に『寂花の乗』『花祭り』『萌えいづる』『女坂』『楽園』『好色入道』『偽りの森』『花びらめくり』『うかれ女島』『どうしてあんな女に私が』『紫の女』など多数。現在も京都でバスガイドを務める。

そんな山村美紗には、美紗が住む豪邸の向かいのマンションに住み、よなよな病弱な美紗を介護する夫がいた。

FAX での
ご注文
(受注センター)

FAX : **06-6310-7057**
(TEL : 06-6338-3078)

大阪府吹田市南金田 1-11-11-202
HP : www.jimotonohon.com/
●発行 / 西日本出版社

書店名(番線)

補充注文

京都に女王と呼ばれた作家がいた ～山村美紗とふたりの男～

■著者：花房観音 ■判型：四六判上製 228P
■本体価格：1,500円+税 ■ISBN 978-4-908443-52-7

大阪府吹田市南金田 1-11-11-202 TEL:06-6338-3078 FAX:06-6310-7057

注文数(注文品)

冊

ご担当

様

日付

●発売 / 西日本出版社